

ロシア史を権力と 民族から考える

3/23  24 

飯田市役所 C 棟 3 階会議室

いけだ よしろう

講師: 池田 嘉郎さん
(東京大学教授)

23 日(土)

- 第 1 講 13:30~15:00 リューリク朝とモンゴル支配
- 第 2 講 15:20~16:50 モスクワ大公国とロシア帝国

24 日(日)

- 第 3 講 9:00~10:30 ソ連と現代ロシア
- 第 4 講 10:50~12:20 多民族国家ロシア: とくに現状に着目して

申込み

参加方法: ①会場(定員80名) ②ご自宅等でのオンライン受講 のどちらか

締切: 会場は3月21日(木)、オンラインは3月9日(土)

申込方法: 電話、FAX、メールのいずれかで受講場所と電話番号をお知らせください。

※オンラインは郵便番号と住所もお知らせください。

資料代: 500円(高校生以下無料)

▼HPはこちらから



モスクワ・クレムリン脇に立つウラジーミル聖公の記念碑

ロシア史を権力と民族から考える

講師より

ロシアでは1905年、1917年、1991年と3度大きな体制変革の機会がありましたが、基本的な統治の構造はこれらの転換点を超えて継承されました。それは第一に統治者が法の上に立つという政治文化であり、第二に住民を団体に編成して統治を行なうという支配の仕組みでした。本講義ではこうした構造がなぜ変わらないのかを、通史をたどることで考えてみます。また、ロシア史において統治構造が形成される上で、民族の問題はどのような役割を果たしたのかについても検討します。第1講から第3講までは権力の問題を主に扱い、第4講で民族の問題を主題とします。とはいえ、二つの論題は緊密に結びついているので、全ての講義において両方の問題について適宜言及するつもりです。

講師プロフィール

いけだ よしろう
池田 嘉郎さん

秋田県生まれ。東京大学文学部卒、同大学大学院人文社会系研究科博士号取得。新潟国際情報大学講師、東京理科大学准教授を経て、現在東京大学大学院人文社会系研究科教授。専門は近現代ロシア史。著書に『革命ロシアの共和国とネーション』（山川出版社）、『ロシア革命一破局の8ヶ月』（岩波書店）、編著書に『ロシア革命とソ連の世紀1 世界戦争から革命へ』（岩波書店）など。

★飯田アカデミアとは、歴史学における第一線の研究者に、最新の研究をわかりやすく紹介していただくものです。

